

引率者に関する特例

大阪中学校体育連盟

本連盟の主催する大会は、中学校教育の一環として位置づけ、府内中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツマンシップの高揚をはかり、心身ともに健全な中学生を育成することを目的としている。このことから、生徒の大会参加に伴う引率については、当該校教員であることを基本とするが、学校事情により校長・教員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、下記の規定に基づき当該校教員以外の引率による大会参加を認めるもので、安易に引率者としての外部指導者の引率を認めるものではない。

- 1 引率者としての外部指導者の規定
 - ① 当該校長が認めた成人であり、日頃から指導に当たっている者のことをいう。なお、事前に校長との間で外部指導者としての契約がなされていること。
 - ② 専門部からの要請があるときは、大会競技役員として大会運営に協力すること。また、専門部によっては、そのための資格を求める場合もある。
 - ③ 引率者としての外部指導者は、各大会の申込用紙の引率外部指導者欄に必要事項を記入すること。
 - ④ 引率者としての外部指導者に規定違反、不適切な言動等があったときは、不適格者として会長または競技専門部長から当該校の校長に連絡し、資格を取り消す。
 - ⑤ この規定以外のことは、大会要項及び各競技専門部の定める規定の通りとする。
- 2 引率者としての外部指導者の引率を認める個人種目は、次の11種目とする。
但し、団体戦は該当しない。
 - ① 陸上競技 ② 水泳競技 ③ 柔道 ④ 剣道 ⑤ 卓球 ⑥ ソフトテニス
 - ⑦ テニス ⑧ 体操競技・新体操 ⑨ 相撲 ⑩ バドミントン ⑪ スキー※ 陸上競技・水泳競技のリレーは、個人種目として取り扱わない。
- 3 引率者としての外部指導者は、監督の資格を認めない。
 - ① その際の監督は、他校の教員とする。この時、当該校の校長は、監督を引き受けた教員の所属長（校長）と本人に文書で依頼し、競技専門部の承認を得ること。
 - ② 手続きは、様式1～7をもって行う。
 - ③ 引率外部指導者による競技上の抗議は、一切受け付けない。ただし、質問事項については、校長が依頼した監督を通して行うことができる。
- 4 生徒の大会出場に関わる全責任は校長が負う。
- 5 引率上の留意点及び大会会場における留意点
 - ① 引率上の留意点等
 - (a) 引率時は、公の交通機関を利用する。
 - (b) 引率外部指導者は、引率上の指導事項等について事前に当該校の校長と十分に協議し、引率に必要な事項を引率生徒に指導すること。
 - (c) 引率外部指導者は任意の傷害保険等に加入する。加入手続きは、外部指導者が行い、費用は原則として自己負担とする。
 - (d) 生徒の服装、持ち物等については、各学校のきまりに従う。
 - (e) 大会の結果と帰校報告を、帰宅後、直ちに行う。
 - ② 大会会場における留意点等
 - (a) 各競技専門部が定める大会要項を遵守し、責任ある行動をとること。特に引率者として相応しくないと大会本部が判断した場合は、退場を命じる。
- 6 本規定は、平成15年4月1日より実施する。